

2015 日本水ロケットコンテスト和歌山大会

主催：日本宇宙少年団 和歌山分団
共催：一般財団法人リビングソーシャルプロジェクト・(株)和歌山リビング新聞社
後援：和歌山県教育委員会・和歌山市教育委員会・テレビ和歌山・和歌山放送
わかやま新報
協力：日本宇宙少年団・和歌山大学宇宙教育研究所・和歌山マリーナシティ(株)
協賛：(株)紀陽銀行・紀陽興産(株)ほけんの相談室・(株)サイコー・NPO法人はまゆう和歌山
(株)和歌山印刷所
日時：6月6日(土) 9:15~15:00(昼食 11:30~12:30)
会場：和歌山マリーナシティ・わかやま館(3階会議室)
(水ロケット製作/マリーナシティ・わかやま館)
(水ロケットコンテスト/マリーナシティ第3駐車場)

毎年恒例行事となっている「日本水ロケットコンテスト和歌山大会」、本年度も無事終了しました。YAC分団員35人、一般参加者31名(キャンセル・欠席6名)、合計66名の子供たちと保護者・スタッフ含め総勢180名以上の方が集まりました。午前中は桐蔭高校科学部の指導のもと順次水ロケットを製作しました。

午後からはコンテストが始まり、子ども達は自分で作った水ロケットを発射台に設置し、水しぶきをはきながら飛んでいく水ロケットを見ながら興奮していました。1人2回ずつ打って順位を決め、最後に表彰状と副賞を授与して、怪我もなく無事終了しました。この活動を通して、子ども達の笑顔や好奇心、探究心、匠の心が見えたように思います。また、これからも次世代の日本を担う青少年の人材育成・人格形成に力を注いでいきたいと思えます。



日本宇宙少年団和歌山分団 竹原副分団長挨拶



水ロケット製作の1階エレベーター前、後援・協賛企業の立看板



参加者と保護者



水ロケット製作説明する桐蔭高校
科学部の加納くん



皆で水ロケット製作中



桐蔭高校教諭の藤木先生と加納君



製作終了し、参加者と桐蔭中学・高校科学部・藤木先生



水ロケットをランチャー（発射台）にセット



「5・4・3・2・1・0 発射」の掛け声と共に水しぶきをはきながら大空へ飛んで行った



岩橋教育リーダーから表彰状と副賞の授与



左から1位の大西貴太郎くん（小1）、2位の飯田竣介くん（小5）、3位の宮本 侑くん（小5）



打上会場の吊看板



打上会場の立看板